

NPO 法人関西ミニウイングスの活動

JICA 関西は、毎年開発途上国の研修員を受け入れて、多岐にわたる分野において、技術的な研修を行っている。インフラの整備や維持管理に関するコースは、年間に約 5 コースの研修がある。具体的には、①自然災害対策、②幹線道路の維持管理、③山岳道路の維持管理、④都市内道路の整備や交通渋滞対策、⑤橋梁の維持管理などである。研修の講師は、土木工学の専門家(国土交通省、府県・市、道路会社、大学、公益法人、建設会社、コンサルタント等)が講義や現場見学会を行っている。

関西ミニウイングスは、社団法人の近畿建設協会と連携して、これらの研修の一部を支援する活動を行っている。会員は約 25 名で、官公庁や民間会社をリタイアしたシビルエンジニアが中心であり、現役の頃に海外業務を経験した者が多い。

活動内容は、研修員が日本で研修で学びたいこと等を発表する日や、研修後に自分の課題を解決する為の計画等を発表する日に参加して質疑応答をする他、現場見学会等に同行し技術的支援を行うなどの活動をしている。また、東大寺や平等院など日本の伝統的な文化を紹介する支援も行っている。



開発途上国の研修員から見た日本

研修員は、アジア、アフリカ、オセアニア、中南米の諸国の官公庁のシビルエンジニアがほとんどであり、最近では大学関係や公的企業の職員も参加するようになってきている。私は、約 25 年前から環境配慮コースの講師を拝命していたこともあり、延 100 ヶ国の研修員と一緒に勉強する機会を得た事に感謝している。

約 25 年前は、米ソ冷戦が終わった時期である。この頃の開発途上国は、まだ内戦が治まっていない国が多くあったが、ここ数年は国内も安定したこともあり、目覚ましい発展が見られる。まるで、明治維新の頃の日本の様である。

研修員と研修後の打ち上げの席で色々な話をしますが、日本での体験を通して彼らを感じたことを聴くと、①国民の公德心、②教育の普及、③労働に誇りを持っていると感じる様である。これらによって、国としての秩序や品質の高い物やサービスを生み大国となったと考えており、日本を目標にしている一因ともなっている様である。

我々の NPO のモットーは、「外国の若い人々に、日本をより好きになってもらうこと」です。今後とも、草の根の交流活動を継続してこうと考えています。

NPO 法人 関西ミニウイングス

事務局長 山下正章

〒596-0827 大阪府岸和田市上松町358番地の99

TEL/FAX : 0724-27-7190 Email: okino217@sensyu.ne.jp